

Maru Hana ファーム(下平間) くろぎ おきら 黒木 祥さん(39歳)

出身 宮崎県宮崎市
家族 2人
就農年月 令和2年7月
栽培作物 ニンジン、サツマイモ、ミズナ ほか
(年間約40種類)



農を支える若き力

伊勢原市は都心に近く、温暖な気候であることから、県内でも有数の水田地帯であるとともに、新鮮で良質な野菜や果樹、花きなどの栽培が積極的に行われています。

しかし、全国的に問題となっている農家の後継者や担い手不足は本市においても例外ではありません。

今号では、文字どおり「畑違い」の仕事から、新規就農を決めた若手農業者取材し、就農したきっかけや農業に対する熱意などを伺いました。

☎農業振興課 電話94-4648

よだか自然農園(東富岡) みやこし しんのすけ 宮越 進之介さん(28歳)

出身 北海道留萌市
家族 独身
就農年月 令和4年12月
栽培作物 トマト、ナス、ピーマン ほか
(年間約40種類を予定)



自分の意思で自由にやりたいことを

大学進学を機に神奈川県へ引っ越してきました。卒業後も県内の製品開発支援会社で、商品化前の試作業の営業を行っていました。

仕事は楽しかったのですが、長年にわたり、独立したいという思いが強くなりました。そんなとき、伊勢原に住む知人から「畑が余っているから、一緒にやってみないか」と声をかけられ、農業に興味を持つようになりました。

その後、ますます農業に魅了され、これで生計を立てることができるなら面白いだろうと感じようになりました。

最初は仕事をしながら、隔週でさまざまな農家を見て回りました。少しずつ作業を覚えていくうちに感触をつかみ、これならやっていけると思い、会社を辞めて農業一本でやることを決意。3年間研修をして、直接農家の人からたくさんのことを勉強させていただきました。農業はとにかく自由なところがと

ても良いです。何をどのように作るか、全て自分で決められるところが一番の魅力だと思います。丹精込めて手入れすれば、おいしい野菜を収穫することができますが、手を抜いてしまうと元気に育たなくなってしまいます。

環境に配慮した野菜作り

年間約40種類の野菜を栽培しており、緑肥(植物を肥料として活用する方法)を中心とした栽培方法を採用しています。緑肥は二酸化炭素の排出を減らす効果があり、環境に配慮した方法です。

また、土壌消毒を行うと微生物が単純化していき、特定の病気が広がる可能性があります。そのため、消毒は行わず、土壌を肥やして次の世代に繋げていくことを考えています。他にも除草剤や農薬を買わずに済むこともメリットの一つだと思います。

作業はとても楽しいですが、今は事務処理が一番のハードルです。日中は畑で作業しているため、資料作

成などは夜になってしまいます。スケジュール管理や行政への書類提出、確定申告などはまだ慣れていないので大変です。しかし、畑で作業することを考えると頑張っています。

現在は、生活協同組合(生協)を中心に、スーパーやレストラン、個人宅配などに野菜を出荷しています。

将来的には、四季に合わせた有機野菜を使用して、ペットフードを作ってみたいです。野菜のピューレや乾燥フードができるとおもしろいと思います。そのほか、ピーズや花なども育ててみたいです。

まずは挑戦して経験を積むこと

農業を始める前の段階が最も重要だと考えています。さまざまな農家を訪ね、自分にあった研修先を見つけ、そこで技術を学び、自分の農地で実践できるかどうか重要です。



キュウリを収穫する黒木さん

畑によって環境条件が異なるため、同じ方法を用いても上手くいかないことがあります。農業に正解はないと思っています。とにかくまずは挑戦して確かめてみないことには始まりません。

黒木さんのとある1日のスケジュール

- 6:00 起床・朝食
- 7:30 きゅうりやいんげんの収穫
- 9:30 ブッキーニの収穫
- 10:30 袋詰め
- 12:00 昼食
- 14:30 耕うんや野菜の管理作業
- 16:30 葉物野菜の収穫
- 17:30 袋詰め・出荷
- 19:00 帰宅

一念発起し、農業の道へ

地元北海道の大学を卒業後、会計事務所働きながら、公認会計士の資格を取ることを目指し、日々努力を重ねていました。しかし、なかなか順調に進まないことに悩み、将来に不安を感じていました。

そんなとき、手にした1冊の本が私の人生を変えることとなりました。自給自足の生活を送りながら、世の中を肉肉かのような内容がとても面白く、自給自足の生活に憧れを抱くようになり、それが農業に興味を持つようになったきっかけです。

そこから農業関連のイベントに参加すると、どんどん関心が向いていくようになりました。何事も自分で経験してみなければ分からないと考え、会計事務所を辞めて、長野県の農家に住み込みで働くことにしました。

デスクワークから一転しての農作業は身体的に大変でしたが、自然の中で体を動かすことは心地よく、精神的に辛いと感じることは全くなか

ったです。

農業のノウハウを学ぶうちに、独立してやってみたいと思うようになり、お金を貯めて、恋人が住む平塚市の近くで自分に合った畑を探し、伊勢原で就農することになりました。

景色や鳥のさえずり、土を踏みしめる感触といった五感が刺激される環境であり、そこで汗を流して野菜を作ることには非常に充実感を感じることができました。

力強い野菜を作りたい

目標はおいしいだけでなく、生命力あふれる力強い野菜を育てることです。そのためには土壌の微生物が重要だと考えています。無農薬で化学肥料を使用せず、草マルチ(刈草を苗の周りに敷くこと)により、土壌に有機物を与えることを意識しています。

また、土壌の微生物を大切にするため、畑を過度に耕さないようにしています。

現在苦労していることは、野生のシカによる作物の被害です。獣害対

策には費用もかかるので、悩みの種となっています。

無農薬栽培のため、病虫害被害に悩まされることもあります。こちらは力強い野菜を育てることで、被害を抑える兆しを見せています。

農業でたくさんの人とつながりたい

自分が育てた野菜を多くの方に食べてもらい、その声を直接聞くことは大きな喜びにつながります。たくさんの方たちとの新たなつながりが増えることで、農業の活力もさらに湧いてきました。

将来的には直売所での販売だけでなく、インターネットを通じてオーガニックの野菜セットを提供したいと考えています。そこから得られる評価や感想は私にとって大きな励みになると考えています。

就農を考えている方には、まず農



ネギを収穫する宮越さん

業を農(農作業)と業(経営)に分けて考え、実際に作業を体験し、「農」の部分に関心がある方におすすめしたいです。そのような方であれば、苦勞することがあっても、大抵のことは乗り越えていけると思っています。

宮越さんのとある1日のスケジュール

- 4:30 起床
- 5:00 トマトやネギの収穫
- 6:30 袋詰め
- 7:30 出荷
- 8:00 朝食
- 9:00 草刈りや野菜の芽かき作業など
- 13:00 昼食
- 14:00 土寄せや草取り、収穫
- 19:30 帰宅



白ナスの摘果(実の聞き)作業



長ナスも栽培しています



強風から野菜を守るため、周りを草で囲っています



ミニトマトの生育状況を確認しています



黄色い実をつけるミニトマト



取り除いた草も畑に還元するそうです

新規就農の一例



就農相談

かながわ農業アカデミーや市のワンストップ窓口へ相談する



農業技術・経営、管理知識の習得

かながわ農業アカデミーや認定農業者の下で1年以上研修を受け、知識・技術を習得する



青年等就農計画の策定

5年後に農業で生計を立てられるよう規模・生産方式などの経営目標や収支計画を作成する



認定新規就農者

青年等就農計画が市に認定されると、認定新規就農者となる
◇各種支援を受けることが可能に



生産基盤の確保

農地、機械、営農資金などを確保する



独立就農

ワンストップ窓口でお気軽にご相談ください

農業協同組合と市、農業委員会が連携し、農業に関するさまざまな相談を1カ所で行える相談窓口を開設しています。相談者に寄り添って丁寧に対応しますので、お気軽にご利用ください。
受付日時 毎月第2・4火曜日(祝日、年末年始を除く)の午後1時30分~4時30分

ところ JA湘南本店3階C会議室
相談内容 新規就農、農地の売買・貸借、販路の拡大、農業者年金、有害鳥獣の対策、納税猶予制度、市民農園の利用 ほか
申し込み 相談日の前日までに問い合わせ先へ
湘南農業協同組合農政対策課☎93-8116